



特別支援教育推進委員会 ニュースレター

1月

第2回「人材育成プログラム研修会～実践編」の報告

平成29年12月16日に、日立システムズホール研修室にて、今年度2回目の人材育成プログラム研修会を開催しました。今回のテーマは「あそびをとおした支援と治療」で、前回の研修会と同様に事例の映像を見ながら、数人のグループで検討する内容で実施しました。身体障害領域に勤務されている方々も含め22名の方に参加者でした。

今回は開始早々に機器トラブルが発生するなどご迷惑をおかけしましたが、「他領域のOTの意見が聞けるのは勉強になる」「また企画してほしい」「実際の映像を見て学べるのがよい」等の嬉しい感想をいただきました。来年度の企画に反映していきたいと思えます。

領域は違ってOTとして「人を観る・人を支援する視点」は同じであり、領域を越えて一緒に学ぶことの楽しさを感じることであった研修会となりました。



「平成29年度県立特別支援学校外部専門家活用事業連絡会」への参加報告

平成29年10月5日に、宮城県庁にて、宮城県教育庁特別支援教育室主催の連絡会が行われました。外部専門家活用事業とは、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の他、音楽療法士、スクールソーシャルワーカー等が年に数回ほど支援学校に訪問し、先生方の困りごとに対して各専門的な立場からアドバイスし、先生方の教育活動をお手伝いする仕事です。特別支援教育推進委員会のメンバーも、北は気仙沼～南は白石まで、複数の支援学校を訪問させていただいております。

今回は、各学校の事業担当の先生方、支援に携わる外部専門家が集まり、10名1グループ、全5グループで、よりよい事業の在り方について情報交換しました。具体的には、各校の先生方から挙げられた事業の課題集をもとに、①外部専門家と先生方の面談時間確保するための工夫、②外部専門家の周知及び記録とその活かし方の2点について各校ごとの現状と改善策を意見交換しました。外部専門家への情報提供の仕方、記録方法、1日の時間の使い方等、各校で異なる点が多々ありました。私は、初めての参加だったので実践例を数多く知ることができ大変有意義な時間となりました。

